

学術展示企画

水戸部寅松の 教師生活と習字研究



水戸部寅松は、明治二八年に新潟県尋常師範学校（現新潟大学教育学部）を卒業した。卒業後は新潟にて附属小学校教員を経て上京し、東京高等師範学校附属小学校に長きにわたり勤務して名教員として知られた。

水戸部寅松は大正期から昭和初期にかけて書き方（習字）教育の権威として知られ、中でも硬筆書き方の研究は高く評価されている。全科の教育について研究していたことにも着目されつつある。

本展示では、新潟大学教育学部清水研究室がおこなってきた曾孫水戸部直樹氏への聞き取りと、新潟田市の水戸部寅松生家の調査内容を反映した年譜を示し、これまで知られていなかった新潟との関係等を提示する。また、現在の書写教育の指導法の基盤を作った水戸部寅松の書き方教育研究や、天山という雅号をもつ水戸部寅松が書いた書作品も紹介する。

令和元年7月4日（木）～7月10日（水）

8時30分～21時 8日（月）休館、7日（日）17時、10日（水）16時迄

入場無料、どなたでもご自由にご覧いただけます。

場所 新潟大学駅南キャンパスときめいと
新潟市中央区笹口1丁目1番地 プラールカ 1 2階
（新潟駅南口徒歩3分）

主催 新潟大学教育学部清水文博研究室
（shimizuf@ed.niigata-u.ac.jp）

NIIGATA UNIVERSITY

